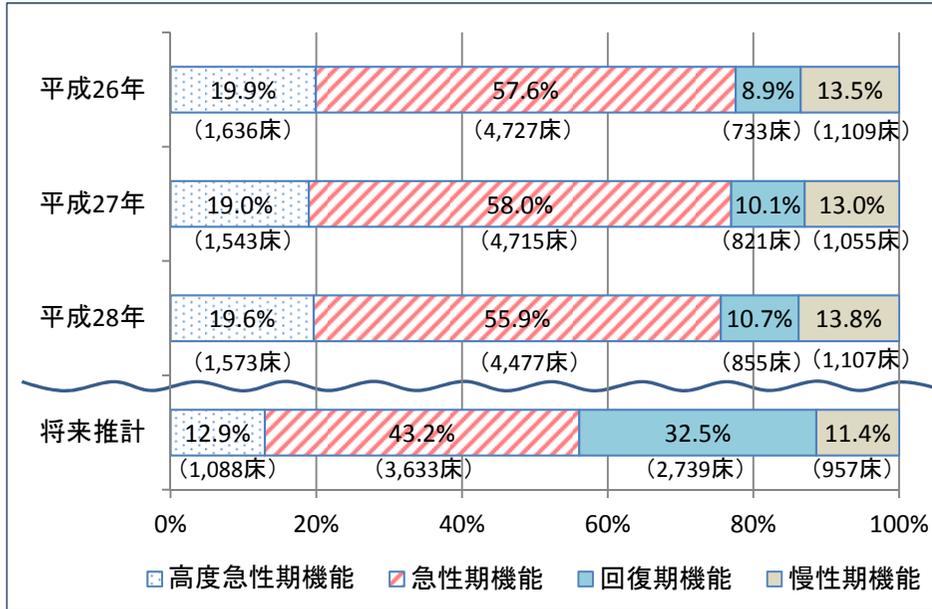
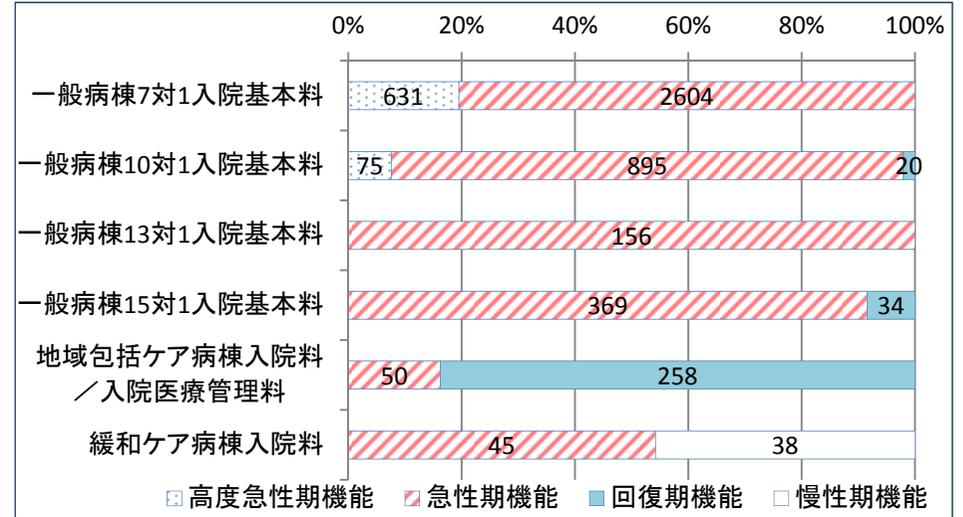


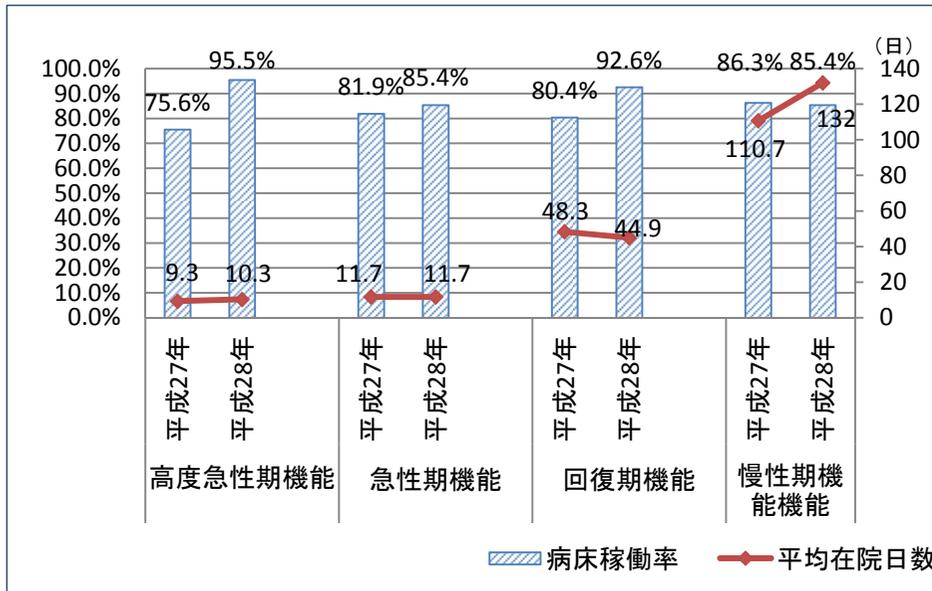
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

機能	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	3136 (95.5%)	85 (2.6%)	39 (1.2%)	23 (0.7%)
急性期機能	7888 (85.6%)	325 (3.5%)	299 (3.2%)	694 (7.5%)
回復期機能	232 (50.4%)	6 (1.3%)	32 (7.0%)	190 (41.3%)
慢性期機能	96 (49.5%)	6 (3.1%)	10 (5.2%)	79 (40.7%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 51.9%

- ①H26からH28にかけて、4機能別の報告割合に大きな変動がない
- ②急性期・回復期機能において、平均在院日数維持／短縮で、病床稼働率が上がっている。
- ②慢性期機能では、在院日数が長くなり、病床稼働率も下がっている。
- ③地域包括ケア病棟では、回復期機能と報告した割合が多い
- ④回復期・慢性期機能において、退院後の在宅医療実施予定が不明という割合が高い
- ⑤退院調整部門の設置割合も都平均を下回る